

| | | | |
|------|-------|------|-------------|
| メーカー | トヨタ | 車体型式 | R5#系 |
| 車種 | エスティマ | 年式 | H18.1~H20.4 |

必要となるブレーキコネクタ J-802

- VE-M シリーズ、VE-Eps シリーズ及び VE-E05*T 取り付け用の接続図です。
VE-M351T、VE-E057T / E058T、VE-Eps50 / Eps51 / Eps52 / Eps57 / Eps58 以外のエンジンスターターは接続情報が異なります。
 取り付けには別売品 ブレーキコネクタ (J-802) が別途必要です。

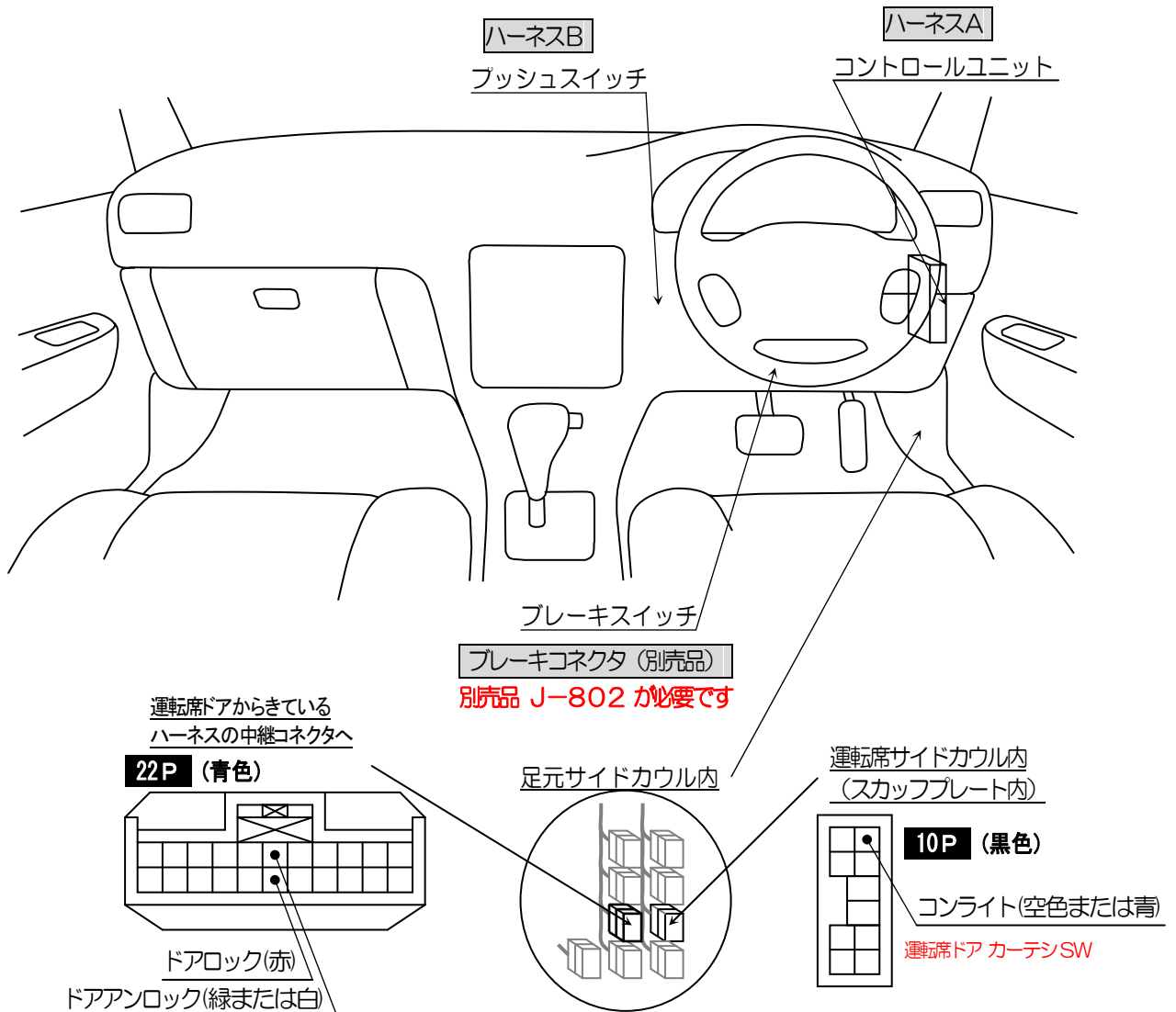
【 エンジンスターター使用上の制限 】

- エンジンスターターによるアイドリング時の使用制限
 - ・いずれかのドアが開いている状態やライトが点灯している状態では、エンジンスターターによるエンジン始動はできません。
 - ・アイドリング停止/終了後およびドアを閉じた後、15 秒間はエンジンスターターでの再始動は行えません。
 - ・エンジン始動時にストップランプが 2 秒間点灯します。
 - ・エンジンスターターでのエンジン始動/停止後は、スマートキーによるアンロックはできません。

- プッシュスタート装備車は、ドアロック制御の取り付けが可能です。
 キーレスエントリー(A-17SF)オプション対応の機種 ⇒ **キーレスエントリーA-17SF が別途必要です。**

【注意事項】

- 点検、修理などでエンジンスターターを取り外す場合(ジャンクションユニット、アンテナユニットを取り外し、配線は車輻に残す場合)は、必ず、ハーネス A(コントロールユニットへ割り込み接続をしているハーネス)を取り外し、車輻本来の接続状態に戻してください。(車輻本来のエンジン始動方法でエンジンが始動できなくなります。)
- 車輻のコンライト(オートライト)機能を使用する場合、(別売の A-60 を使用して)コンライト配線の接続を行い、必ずエンジンスターターのドア検出設定を「アイドリングを停止しない」に変更してください。(ドア検出設定を変更しない場合、夜間など車輻のコンライト(オートライト)機能によるライト点灯時に、スターターでエンジン始動できません。)(コンライト配線を接続していない場合、スターターでのアイドリング動作終了後(エンジン停止後)ライトが消灯しません。)



登録方法と注意事項

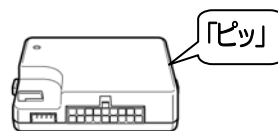
全ての接続が終了したら、パーキング (P) ・ポジション自動検出の設定を行います。

*下記、パーキング (P) ・ポジション自動検出の設定を行うと自動的にイモビ ID の登録もされます。

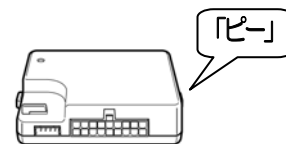
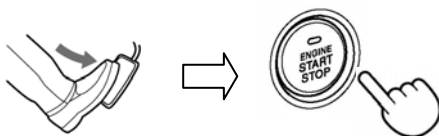
上記機種以外のエンジンスターターは、下記の方法によるパーキング (P) ・ポジション自動検出の設定はできません。

● パーキング (P) ・ポジション自動検出の設定

- 1) スタータユニットの電源投入後、ジャンクションユニットから『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』という確認音が連続して鳴ります。
- 2) シフトレバーがパーキング (P) ・ポジションに入っていることを確認します。
- 3) スマートキーを携帯し、車輦に乗り込み、ブレーキペダルを踏み込みます。(ブレーキペダルを踏み続けます)
→ジャンクションユニットから『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』音が止まり、続けて『ピッ』音が鳴ります。



- 4) ブレーキペダルを踏みながら、プッシュスタートスイッチを押してエンジンを始動させます。
→ジャンクションユニットから『ピー』音が鳴ります。



- 5) プッシュスタートスイッチを押してエンジンを停止させます。



- 6) ブレーキペダルを離します

以上で登録作業は完了です。リモコン操作でエンジン始動の確認をしてください。

◎ ご注意！

プッシュスタートシステムの仕様上、次のような制限がございます。

- ◆いずれかのドアが開いている状態やライトが点灯している状態では、エンジンスターターによるエンジン始動が行えません。
- ・アイドリング終了時、ルームランプやキーイルミネーションが点灯し、自動消灯します。
エンジン停止後やドアを閉じた後の約 15 秒間(残光中)は、エンジンスターターで始動させることができません。
- ◆エンジン始動時、ストップランプが約 2 秒間点灯します。
- ◆エンジンスターターでのエンジン始動/停止後は、スマートキーによるアンロックはできません。